

ため池調査

ため池の改修や農業用水路の補修、圃場整備など、農業に関する工事を行う際には、事前に生息する生物を調査し、影響を軽減することが法律により定められています。

耕作地が減り、管理出来なくなったため池も増えており、ため池そのものを廃止する箇所も増えています。ため池は人が造った環境ですが、頻りに草刈りが行われるため、明るい草地に生育する植物が生育するなど、人と動植物が共存してきた環境でもあります。

今年度、西条自然学校では愛媛県より委託を受け、県内全域のため池で生物調査を行っています。



高須海岸オオキンケイギク除去作業 2023. 5. 27



高須海岸は西条市の中では珍しく砂浜の海岸です。様々な海浜植物が生育し、年に数回ゴミ拾いのイベントも行われるなど、市民に親しまれる海岸です。

しかしその海岸に特定外来に指定されているオオキンケイギクが侵入し、在来種の生育場所が損なわれる恐れが出てきたため、特定外来の除去についての研修を兼ねて観察会を開催しました。

昨年も同じように除去を行い、生育数が減少しているとはいえ130kgのオオキンケイギクを抜去しました。

種の発芽可能期間は最長13年と言われており、在来種を保全するため、今後も続けていきたいと考えています。



saijo.nature

Instagram



@saijonature

日々の様子はこちらから

円山森林公園でチョウ類モニタリング研修会を行います

日 時：2023年6月11日 10時～12時
場 所：西条市黒瀬乙 円山森林公園

日本には約 240 種のチョウ（蝶）が生息しています。チョウは、自然環境の変化を知るための、指標性の高い生物グループとされています。

日本チョウ類保全協会では、チョウを調べることで、日本の自然がどのように変化しているのかを把握する調査を担っていただく方を募集しています。

チョウの識別に自信がない初心者の方も歓迎しますので、ぜひご参加ください。

講師：中村康弘（特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会）

持ち物：野外に出るための服装（帽子・長袖・長ズボン・運動靴・タオルなど）、
筆記用具、カメラ、チョウの図鑑（お持ちであれば）。

雨天時：室内（西条 BASE）で研修を行います。

申し込み・問い合わせ：特定非営利活動法人 西条自然学校



夜学のご案内

毎月、第三水曜日の19時～20時に西条市図書館2階会議室で開催しています。生き物や自然に関するお話を聞く会です。どなたでも、申し込みなしで参加いただけます。

開催後、動画の配信も行っていますので、当日参加出来なかった方はHPから動画をご覧ください。

● 第221回 6月21日（水）

「海ゴミのお話し」

講師：岩田和鷹（西条自然学校）



● 第222回 7月19日（水）

「淡水巻貝のお話し」

講師：野口大介（西条自然学校）



放置人工林伐採作業

放置人工林を解消するため、大保木地区での伐採作業を続けています。

放置人工林は、地下水の減少や災害の原因ともなり、速急な対策が必要です。

伐採した木材を出荷し、活動費に充てていますが、木材価格が下がり、厳しい状況です。



西条自然学校では、自然環境の保全活動を継続させ、雇用を生み出すために、様々な製品の製造、販売を行っています。いとまちマルシェや西条市観光物産協会にてお求めください。

